

平成21年度学校評価「浜松市共通項目」(幼稚園)の結果と考察

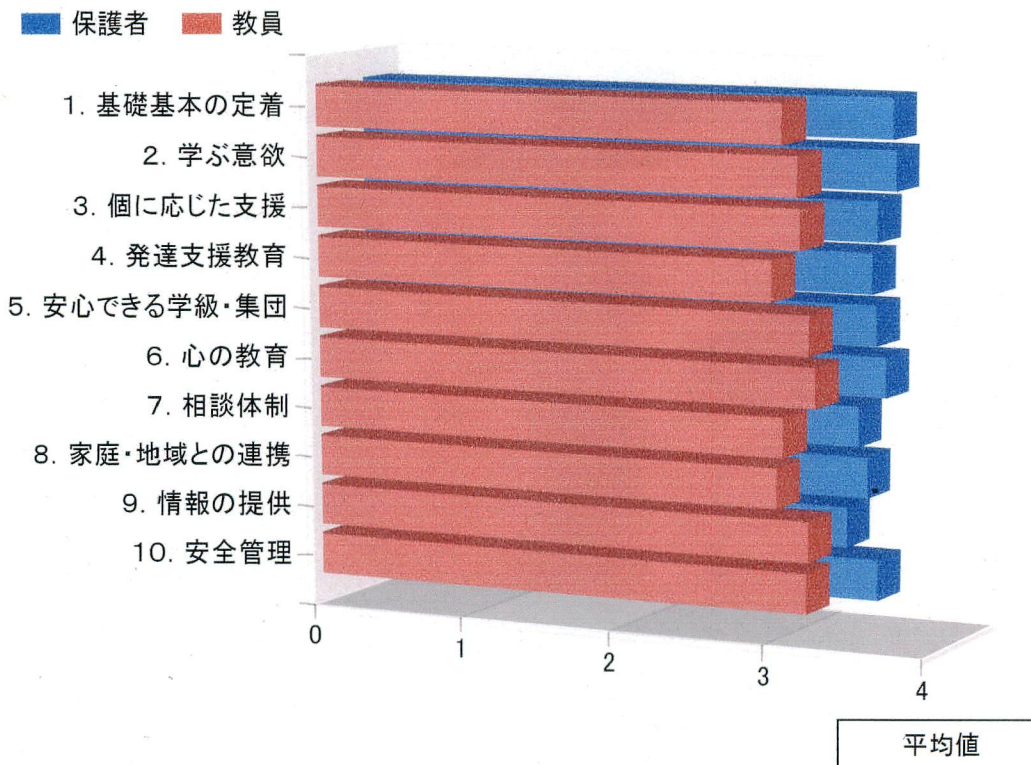
本市では、園評価の「浜松市共通項目」10項目(表1)について、保護者、教員に対しアンケート調査をした。項目ごとに「4 とてもそう思う 3 まあそう思う 2 あまりそう思わない 1 まったくそう思わない」の回答を求め、各園からその平均値の報告を受けた。結果を分析し、その考察を示す。

表1:園評価「浜松市共通項目」とその結果

評価項目	保護者	教員
1. 基礎基本の定着	※3.50	3.05
2. 学ぶ意欲を向上させる授業の工夫	※3.52	3.15
3. 個に応じた支援	※3.41	3.17
4. 子ども理解を基盤とした発達支援教育	※3.38	※2.99
5. 安心できる学級・集団づくり	※3.41	3.23
6. 心の教育(生命尊重・規範意識の醸成)	※3.47	3.27
7. 相談体制	※3.30	3.07
8. 家庭・地域との連携	※3.36	3.03
9. 情報の提供	※3.23	3.23
10. 安全管理	※3.43	3.22

※は、注目すべき数字

グラフ1:園評価「浜松市共通項目」の調査対象別分布



<保護者のアンケート結果に対する考察>

表1、グラフ1から分かるように、すべての項目で「3」以上を示しており、保護者の評価が大変高いことが分かる。表2は、前年度と比較し、各項目の伸びを示したものである。これを見ても分かるように、ほとんどの項目において前年度を上回っている。さらに、表3は、保護者が「分からない」と回答した割合を前年度と比較したものである。ほとん

どの項目で「分からない」と回答する割合が減っている。これらのことから、保護者の幼稚園教育への満足度はかなり高いと考えられる。

表2: 保護者の共通項目平均値の変化(H21年-H22年)

	項目1 「基礎・ 基本の 定着」 保護者	項目2 「楽しい 保育」 保護者	項目3 「個に応 じた支 援」保 護者	項目4 「子ども 理解...」 保護者	項目5 「安心で きる学 級・集 団づ くり」 保護者	項目6 「心の教 育...」 保護者	項目7 「相談体 制」保 護者	項目8 「家庭・ 地域と の連携」 保護者	項目9 「情報の 提供」 保護者	項目10 「安全管 理」保 護者
H21年度平均値	3.50	3.52	3.41	3.38	3.41	3.47	3.30	3.36	3.23	3.43
H20年度平均値	3.44	3.47	3.40	3.35	3.39	3.47	3.20	3.31	3.24	3.31
比較	0.06	0.05	0.01	0.03	0.02	0.00	0.10	0.05	-0.01	0.11

表3: 各項目で「分からない」と回答した保護者割合の変化(H21年-H22年)

	項目1 「基礎・ 基本の 定着」 保護者 一分か らない	項目2 「楽しい 保育」 保護者 一分か らない	項目3 「個に応 じた支 援」保 護者一 分から ない	項目4 「子ども 理解...」 保護者 一分か らない	項目5 「安心で きる学 級・集 団づ くり」 保護者 一分か らない	項目6 「心の教 育...」 保護者 一分か らない	項目7 「相談体 制」保 護者一 分から ない	項目8 「家庭・ 地域と の連携」 保護者 一分か らない	項目9 「情報の 提供」 保護者 一分か らない	項目10 「安全管 理」保 護者一 分から ない
H21年度平均値	0.41	0.50	1.25	1.46	1.15	0.78	0.82	1.11	2.09	0.94
H20年度平均値	0.62	0.74	1.54	1.77	1.08	0.98	0.95	1.33	2.02	1.50
比較	-0.20	-0.24	-0.29	-0.30	0.07	-0.20	-0.12	-0.22	0.07	-0.56

各園の自由記述の欄を見ると、「本園の課題は、『楽しい保育』であり、そのために地域の素材を生かすように研修をしてきた」「本年度は、園外保育や親子給食、絵本の読み聞かせなどに力点を置くことで保護者や地域と連携・協力することが増え、園の風通しが良くなった」などのコメントがあった。このような自園の弱点を改善しようとする取組が、保護者の高い満足度につながっていると考えられる。

＜教員のアンケート結果に対する考察＞

グラフ2
「子ども理解を基盤とした発達支援教育」に関する教員の考え方

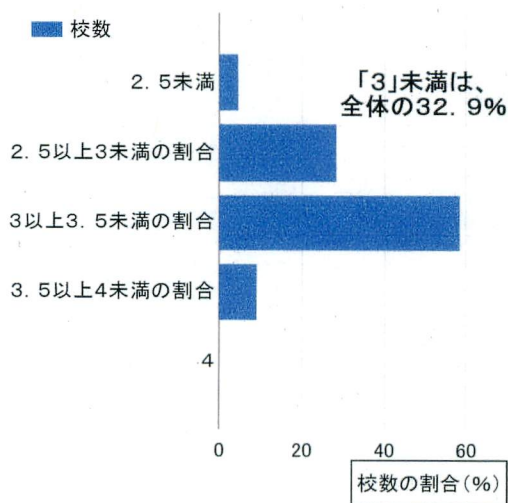


表1、グラフ2から分かるように、「子ども理解を基盤とした発達支援教育」に対する教員の平均値は「3」を切っており、「3」未満の園が32.9%あった。本市では、発達支援教育の理念を根幹に教育活動を進めることとしており、改善が求められる。この項目が「3」以下を示した原因の一つとして、若年層教員の増加が考えられる。しかし、各園の自由記述の欄を見ると「全職員体制で取り組む」「支え合う組織をつくる」「職員が共同して子どもを育てる」等のコメントが多く見られ、園では若手教員を支える組織作りを意識して園経営を進めているようである。このような組織の機能が高まり、

それに支えられていくことで、若手教員の成長が促され、発達支援教育の理念を根幹に据えた教育が一層強力に展開されることを期待したい。